



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月14日

上場会社名 株式会社ムロコーポレーション 上場取引所 東
コード番号 7264 URL <https://www.muro.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 室 雅文
問合せ先責任者（役職名） 執行役員経理部長（氏名） 山口 誉（TEL）028-667-7122
半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 2025年12月8日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期中間期	11,439	1.6	650	50.9	285	△44.4	69	△80.3
2025年3月期中間期	11,255	△6.0	430	△54.4	513	△61.9	350	△61.8

（注）包括利益 2026年3月期中間期 △110百万円（—％） 2025年3月期中間期 769百万円（△51.2％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	11.43	—
2025年3月期中間期	57.96	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期中間期	30,165	21,820	72.3
2025年3月期	30,492	22,069	72.4

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 21,820百万円 2025年3月期 22,069百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	22.00	—	23.00	45.00
2026年3月期	—	23.00			
2026年3月期（予想）			—	23.00	46.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
通期	23,066	2.1	1,068	41.6	812	△23.6	345	△28.9

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(中間期)

2026年3月期中間期	6,546,200株	2025年3月期	6,546,200株
2026年3月期中間期	504,204株	2025年3月期	504,204株
2026年3月期中間期	6,041,996株	2025年3月期中間期	6,042,021株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当中間決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間連結損益計算書関係)	9
(セグメント情報等)	10
(収益認識関係)	11

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

経営成績の状況

当中間連結会計期間における世界経済は、引き続き地政学的リスクと政策不確実性の影響を受けました。ロシアによるウクライナ侵攻の長期化に加え、中東ではイスラエルと周辺諸国との緊張が再燃し、国際的な物流や資源価格に不安定要因をもたらしました。米国では関税政策の強化が進み、特に自動車関連の輸出に対する影響が顕在化しつつあります。欧州や中国では景気の減速が続いており、世界経済全体としては持ち直しの兆しが見られるものの、回復のテンポは鈍化しています。

国内経済においては、最低賃金の全国的な引き上げや春闘による賃上げの効果により名目賃金は増加傾向にありますが、食料品やエネルギー価格の高止まりが続いて家計の節約志向が強まっています。個人消費は横ばい圏で推移しており、企業部門では設備投資意欲は底堅いものの、業績の下振れリスクが高まっています。また、政局の不安定化や新政権の経済政策の方向性が不透明であることも、企業活動に慎重姿勢をもたらしました。

当社の主力である自動車業界では、中国・東南アジア市場での販売不振やトランプ関税の影響もありましたが、認証不正問題等に伴う生産減が解消された事により、全体としては堅調に推移しました。

このような環境下、当社グループの連結売上高は11,439百万円(前年同期比1.6%増)となりました。これに伴い営業利益は650百万円(前年同期比50.9%増)となりましたが、米国子会社のコロナ禍時に需給した補助金の返還損と損害賠償引当金繰入額を含む452百万円を計上した事等により経常利益は285百万円(前年同期比44.4%減)となり、親会社株主に帰属する中間純利益は69百万円(前年同期比80.3%減)と大幅な減益となりました。

当中間連結会計期間における報告セグメントの業績は、次の通りであります。

① 金属関連部品事業

当中間連結会計期間の当事業の売上高は、10,109百万円(前年同期比2.9%増)となりました。主に国内客先の生産が堅調に推移した事により増加しました。

② 樹脂関連部品事業

当中間連結会計期間の当事業の売上高は、740百万円(前年同期比4.3%増)となりました。タイ国子会社の樹脂部門の売上は客先の減産により減少しましたが、国内客先の生産が堅調に推移したことにより増加しました。

③ その他事業

当中間連結会計期間の当事業の売上高は、590百万円(前年同期比18.7%減)となりました。国内はスチールハウス市場の物件増加と建築市場の新規販売により増加しましたが、海外は市場低迷と米国の関税政策の影響から販売が減少しました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

総資産は、前連結会計年度末に比べ327百万円減少し、30,165百万円となりました。主な増加は受取手形及び売掛金94百万円、投資有価証券378百万円であり、主な減少は現金及び預金169百万円、有形固定資産548百万円であります。

(負債の部)

負債は、前連結会計年度末に比べ77百万円減少し、8,345百万円となりました。主な増加は損害賠償引当金280百万円であり、主な減少は1年内含む長期借入金420百万円であります。

(純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末に比べ249百万円減少し、21,820百万円となりました。主な増加はその他有価証券評価差額金243百万円であり、主な減少は為替換算調整勘定422百万円によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は72.3%(前連結会計年度は72.4%)となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ、25百万円増加し7,596百万円(前連結会計年度末比0.3%増)となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、1,087百万円(前中間連結会計期間は825百万円の使用)となりました。これは主に減価償却費658百万円、損害賠償引当金の増加額289百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、324百万円(前中間連結会計期間は471百万円の使用)となりました。これは主に定期預金の払戻による収入195百万円があったものの、有形固定資産の取得による支出498百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、553百万円(前中間連結会計期間は371百万円の使用)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出385百万円、配当金の支払額138百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、当中間連結会計期間における業績の状況、今後の事業環境等を勘案し、当期の業績予想の見直しを行った結果、2025年5月14日に公表致しました2026年3月期通期における業績予想を修正致しました。

詳細につきましては、2025年11月13日公表の「営業外費用の計上及び連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,491,632	8,322,567
受取手形及び売掛金	3,058,162	3,152,367
電子記録債権	1,844,276	1,876,502
有価証券	100,822	100,370
商品及び製品	1,210,879	1,203,470
仕掛品	597,202	533,184
原材料及び貯蔵品	658,692	525,043
その他	396,698	456,143
流動資産合計	16,358,366	16,169,648
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,256,502	10,990,741
減価償却累計額	△5,620,594	△5,686,104
建物及び構築物(純額)	5,635,908	5,304,636
機械装置及び運搬具	17,037,182	16,557,414
減価償却累計額	△14,401,105	△14,100,890
機械装置及び運搬具(純額)	2,636,076	2,456,523
土地	1,684,089	1,646,017
建設仮勘定	140,732	167,904
その他	6,874,103	6,834,831
減価償却累計額	△6,300,142	△6,287,780
その他(純額)	573,960	547,050
有形固定資産合計	10,670,768	10,122,132
無形固定資産	266,194	257,171
投資その他の資産		
投資有価証券	1,852,793	2,231,669
繰延税金資産	27,855	26,228
その他	1,320,986	1,362,837
貸倒引当金	△4,280	△4,280
投資その他の資産合計	3,197,355	3,616,454
固定資産合計	14,134,318	13,995,759
資産合計	30,492,684	30,165,408

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,214,608	1,231,000
電子記録債務	2,146,245	2,055,236
短期借入金	1,110,000	1,110,000
1年内返済予定の長期借入金	429,521	140,737
未払金	446,035	610,054
未払法人税等	51,650	163,384
賞与引当金	639,582	529,587
役員賞与引当金	77,310	48,745
損害賠償引当金	—	280,875
その他	810,897	813,657
流動負債合計	6,925,852	6,983,279
固定負債		
長期借入金	851,537	719,726
繰延税金負債	225,962	352,050
役員退職慰労引当金	9,486	5,045
退職給付に係る負債	61,600	59,049
その他	348,625	226,255
固定負債合計	1,497,211	1,362,127
負債合計	8,423,064	8,345,407
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,095,260	1,095,260
資本剰余金	904,125	904,125
利益剰余金	18,293,477	18,223,603
自己株式	△395,547	△395,547
株主資本合計	19,897,315	19,827,442
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	814,303	1,057,352
為替換算調整勘定	1,358,001	935,206
その他の包括利益累計額合計	2,172,304	1,992,559
純資産合計	22,069,620	21,820,001
負債純資産合計	30,492,684	30,165,408

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	11,255,275	11,439,674
売上原価	9,245,068	9,253,178
売上総利益	2,010,206	2,186,495
販売費及び一般管理費		
運搬費	173,808	173,246
給料及び賞与	414,086	371,434
賞与引当金繰入額	81,211	76,399
役員賞与引当金繰入額	71,675	48,225
その他	838,676	867,173
販売費及び一般管理費合計	1,579,457	1,536,478
営業利益	430,749	650,017
営業外収益		
受取利息	20,566	23,896
受取配当金	36,768	41,489
太陽光売電収入	7,173	5,540
補助金収入	99,524	—
為替差益	—	13,131
その他	47,648	45,949
営業外収益合計	211,682	130,007
営業外費用		
支払利息	32,878	22,460
為替差損	88,684	—
補助金返還損	—	163,911
損害賠償引当金繰入額	—	289,022
その他	7,018	18,718
営業外費用合計	128,581	494,111
経常利益	513,850	285,912
特別利益		
固定資産売却益	1,357	128
投資有価証券売却益	3,800	—
特別利益合計	5,158	128
特別損失		
固定資産売却損	2,584	93
固定資産除却損	10,216	738
特別損失合計	12,801	832
税金等調整前中間純利益	506,207	285,209
法人税、住民税及び事業税	113,606	190,874
法人税等調整額	42,349	25,241
法人税等合計	155,955	216,116
中間純利益	350,251	69,092
親会社株主に帰属する中間純利益	350,251	69,092

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	350,251	69,092
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△152,061	243,048
為替換算調整勘定	594,842	△422,794
退職給付に係る調整額	△23,419	—
その他の包括利益合計	419,361	△179,745
中間包括利益	769,612	△110,653
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	769,612	△110,653
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	506,207	285,209
減価償却費	715,851	658,213
賞与引当金の増減額(△は減少)	△100,305	△108,508
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	25,770	△28,564
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△2,991	△4,107
損害賠償引当金の増減額(△は減少)	—	289,022
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	67,482	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△51,669	△1,303
受取利息及び受取配当金	△57,335	△65,385
支払利息	32,878	22,460
為替差損益(△は益)	73,666	△1,777
補助金収入	△99,524	—
固定資産除却損	10,216	738
固定資産売却損益(△は益)	1,227	△34
補助金返還損	—	163,911
投資有価証券売却損益(△は益)	△3,800	—
売上債権の増減額(△は増加)	△9,532	△184,638
棚卸資産の増減額(△は増加)	108,647	134,154
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,617,060	△28,386
未払金の増減額(△は減少)	2,029	43,079
未払又は未収消費税等の増減額	△80,332	31,111
その他	10,593	△106,691
小計	△467,982	1,098,501
利息及び配当金の受取額	57,271	56,355
利息の支払額	△35,564	△24,211
補助金の受取額	99,524	—
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△478,411	△43,623
営業活動によるキャッシュ・フロー	△825,161	1,087,021
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△196,323	△12,890
定期預金の払戻による収入	—	195,009
有価証券の償還による収入	322,140	—
有形固定資産の取得による支出	△578,425	△498,513
有形固定資産の売却による収入	3,466	10,176
無形固定資産の取得による支出	△15,815	△8,686
投資有価証券の取得による支出	△9,221	△22,575
投資有価証券の売却による収入	16,137	—
その他	△13,358	12,733
投資活動によるキャッシュ・フロー	△471,400	△324,744
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△328,763	—
長期借入れによる収入	300,000	—
長期借入金の返済による支出	△177,578	△385,941
配当金の支払額	△133,022	△138,757
リース債務の返済による支出	△32,244	△29,027
財務活動によるキャッシュ・フロー	△371,608	△553,726
現金及び現金同等物に係る換算差額	151,176	△183,492
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,516,993	25,057
現金及び現金同等物の期首残高	8,832,951	7,571,318
現金及び現金同等物の中間期末残高	7,315,957	7,596,375

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間連結損益計算書関係）

損害賠償引当金繰入額

ムロテック オハイオ コーポレーションにおいて、米国政府より受けた補助金の再調査があり、申請要件不適合との診断を受けました。これによる米国政府からの罰則金見込額を営業外費用に計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他事業 (注1)	合計	調整額 (注2)	中間連結 損益計算書 計上額 (注3)
	金属関連部品 事業	樹脂関連部品 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	9,819,977	709,734	10,529,711	725,563	11,255,275	—	11,255,275
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	623	37,541	38,165	—	38,165	△38,165	—
計	9,820,600	747,276	10,567,877	725,563	11,293,440	△38,165	11,255,275
セグメント利益 又は損失(△)	943,428	△98,259	845,168	30,983	876,152	△445,402	430,749

- (注) 1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連続ねじ締め機、ねじ連綴体及び柑橘類皮むき機等の製造販売の新規事業品等事業であります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△445,402千円には、セグメント間取引消去△38,165千円、報告セグメントに配分していない全社費用△407,237千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他事業 (注1)	合計	調整額 (注2)	中間連結 損益計算書 計上額 (注3)
	金属関連部品 事業	樹脂関連部品 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	10,109,253	740,377	10,849,630	590,043	11,439,674	—	11,439,674
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	41,902	26,841	68,743	—	68,743	△68,743	—
計	10,151,155	767,218	10,918,373	590,043	11,508,417	△68,743	11,439,674
セグメント利益 又は損失(△)	1,089,679	△25,364	1,064,315	△1,736	1,062,578	△412,560	650,017

- (注) 1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連続ねじ締め機、ねじ連綴体及び柑橘類皮むき機等の製造販売の新規事業品等事業であります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△412,560千円には、セグメント間取引消去15,866千円、報告セグメントに配分していない全社費用△428,427千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

当社グループは主として自動車メーカー向けの部品供給事業を中心に事業活動を行っております。売上高を顧客の所在地を基礎とした地域に分類しております。

分解した地域別の売上高と報告セグメントとの関係は以下の通りです。

前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他事業 (注)	合計
	金属関連部品 事業	樹脂関連部品 事業	計		
日本	7,741,129	586,956	8,328,086	105,050	8,433,137
北米	1,442,359	—	1,442,359	431,643	1,874,002
東南アジア	573,797	122,777	696,574	—	696,574
その他	62,690	—	62,690	188,869	251,560
外部顧客への売上高	9,819,977	709,734	10,529,711	725,563	11,255,275

(注) 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連続ねじ締め機、ねじ連綴体及び柑橘類皮むき機等の製造販売の新規事業品等事業であります。

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他事業 (注)	合計
	金属関連部品 事業	樹脂関連部品 事業	計		
日本	8,108,371	552,139	8,660,511	121,476	8,781,988
北米	1,402,160	—	1,402,160	393,390	1,795,551
東南アジア	527,109	188,237	715,346	—	715,346
その他	71,611	—	71,611	75,175	146,787
外部顧客への売上高	10,109,253	740,377	10,849,630	590,043	11,439,674

(注) 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連続ねじ締め機、ねじ連綴体及び柑橘類皮むき機等の製造販売の新規事業品等事業であります。